

# 認定

## 塩野由子氏を任命



▲古壕秀一氏

□芳賀町教育委員会委員の任命について

令和元年9月30日をもって任期満了となる小

令和元年9月30日をもって任期満了となる古壕秀一氏を引き続き最適任者として任命することを議員全員が同意しました。

### 同意

□芳賀町教育長の任命について

林久子氏の後任に塩野由子氏(与能)を最適任者として任命することを議員全員が同意しました。



▲塩野由子氏

### 報告

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について

□芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について

両法人の経営状況を説

### 条例制定

□芳賀町森林環境整備基金条例の制定について

平成31年3月に森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が成立し、

□平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見を付して報告するもの。(質疑なし)

### 質疑

小林一男議員

明するため、平成30年度の事業実績及び決算を報告するもの。

### 条例改正

□芳賀町職員の給与に関する条例の一部改正について

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が成立し、公布されたことにより、地方公務員法第16条に規定する欠格条項のうち、第1号「成年被

### 質疑

小林隆志議員

(討論なし、原案可決)

### 契約

□工事請負契約の締結について(芳賀変電所受

□芳賀町印鑑条例の一部改正について

住民基本台帳法施行令等の一部改正に伴い、旧氏での印鑑登録、印鑑登録証明書への旧氏の併記を可能とするため、条例の一部を改正するもの。(質疑・討論なし、原案可決)

## 第4回芳賀町議会定例会

### の要

令和元年第4回芳賀町議会定例会が9月3日から13日までの11日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受け、監査委員から決算審査の報告を受けました。

一般質問は、第3日目に行われ、4人の議員が町政について質問しました。

第4日目に平成30年度決算を除く議案の質疑・討論・採決を行い、第7日目に平成30年度の決算についての質疑を行った後、決算審査を常任委員会に付託し、第9日目まで決算審査を行いました。最終日に平成30年度決算を原案どおり認定し、同意案を採決し、閉会しました。

## 令和元年第4回芳賀町議会定例会提出議案



# 平成30年度決算を

## 教育長に古塚秀一氏、教育委員会委員に

### 変電設備工事

○契約金額

2億9568万円

○契約相手方

宇都宮市大通り四丁目1番18号  
富士古河E&C株式会社

社 東日本支社

支社長 我妻隆之氏

(質疑・討論なし、原案可決)

### 取得

○財産の取得について  
(分岐器(溝レール用)の購入)

○契約金額

5799万2千円

○契約相手方

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
新潟トランス株式会社

代表取締役社長 石塚

武文氏

(質疑・討論なし、原案可決)

### 変更

○字の廃止及び字の区域の変更について

県営打越新田地区土地改良事業の施行の結果、事業実施後の現況に符合しない字の区域が生じた

ため、字の廃止及び字の区域の変更を行うもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

### 額の決定

○損害賠償の額を定めることについて

令和元年7月10日午後2時20分ごろ、芳賀町大字上延生地内の交差点において、町職員が町有自動車で右折しようとした際、安全確保のため後退したところ、停止していた後続車と接触したことに対し損害賠償したものに賠償額は5万6846円で全国自治協会公用自動車事故共済保険で全額対応するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

### 補正予算

○令和元年度芳賀町一般会計補正予算(第2号)

総額に3億8724万円を追加し、予算総額を96億6764万4千円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

○令和元年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第1号)

・保険事業勘定  
総額に2401万9千円を追加し、予算総額を15億951万9千円とするもの。  
・サービス事業勘定  
総額から130万4千円減額し、予算総額を389万6千円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

○令和元年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

総額に440万円を追加し、予算総額を3億2040万円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

### 認定

○平成30年度芳賀町一般会計、芳賀町国民健康保険特別会計、芳賀町後期高齢者医療特別会計、芳賀町介護保険特別会計、芳賀工業団地排水処理センター特別会計、芳賀町公共下水道事業特別会計、芳賀町農業集落排水事業特別会計、芳賀町祖母井

南部土地区画整理事業特別会計及び芳賀町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について  
平成30年度は、第6次芳賀町振興計画の3年目でした。町では、「躍動する芳賀の町 未来に「教育をつなげる」「話題をつなげる」「笑顔をつなげる」「地域をつなげる」の5つの分野に分けられた事業が実施されました。

平成30年度各会計決算の状況

会計別	歳入	歳出
一般会計	79億4,454万5千円	74億8,258万5千円
国民健康保険特別会計	20億1,676万4千円	19億5,454万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億6,501万3千円	1億6,033万3千円
介護保険特別会計	保険事業勘定	14億6,525万5千円
	介護サービス事業勘定	662万7千円
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	5,260万6千円	4,798万6千円
公共下水道事業特別会計	2億6,765万8千円	2億5,711万9千円
農業集落排水事業特別会計	1億7,948万9千円	1億7,368万円
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	1,067万7千円	1,067万7千円
宅地造成事業特別会計	4億6,282万1千円	4億2,111万8千円
計	125億7,145万5千円	119億3,102万6千円

# 最小の経費で最大の効果を



▲小林一男監査委員



▲樋田貞夫代表監査委員

本町の財政は、比較的健全に運営されており、各種事業等歳出についても、計数的な過誤もなく、適切で誠実に執行されてきました。また、第6次芳賀町振興計画の3年目として平成30年度の重点施策について事業内容等を確認した結果、おおむね計画どおり良好に執行されてきました。

本町の平成30年度単年度財政力指数は1・05  
1、健全化判断比率は、実質公債費比率2・2%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は71・8%です。

約1億2184万円増の47億5407万円の収入となりました。

今後、LRT事業、芳賀第2工業団地造成、土地改良事業などの大型事業が本格化して参りますので、なお一層の効率的で堅実な財政運営をお願いします。

借入金である地方債の残高は、一般会計と4つの特別会計で、約49億2577万円で、年々計画的な減少が見られ、執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。

平成30年度の予算執行も健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思います。引き続き令和元年度も普通交付税の不交付団体になりましたが、財政的に余裕があるわけではないことを認識し、引き続き新たな財源確保の施策を講じるなど、歳入の確保に努め、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるようにお願いします。

## 平成30年度末の町債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)

項目	金額	町民一人あたり※
町債残高	19億3,009万4千円	約12万3千円
基金残高	26億7,575万9千円	約17万1千円

※平成31年3月31日の人口15,693人で算出。千円未満は四捨五入。

### 平成30年度に実施した

## 5つの「つなげる」の主な事業

#### 便利をつなげる

宅地造成事業 4億2,111万円



#### 教育をつなげる

総合情報館図書館運営費

3,429万円



#### 話題をつなげる

ふるさと交流センター管理運営費  
5,205万円



#### 笑顔をつなげる

生活習慣病検診費  
3,722万円



#### 地域をつなげる

自治振興費 1,743万円



# 平成30年度決算の主な質疑

## 大根田周平議員

**問** 生活拠点に関するまちづくり計画280万8千円の具体的な内容について問う。

**答** **建設産業部長** 下原地区の地区計画の策定のための活動の支援等まちづくり研究会活動のための資料作成や検討会のための資料作成を委託したものです。下原地区まちづくり研究会と連携し、目指すべき将来像を掲げ必要となる整備やまちづくりのルールなどを計画するためのものです。

## 岩村治雄議員

**問** 町税、不納欠損1087万1467円の内容について問う。

**答** **税務課長** 不納欠損の内容は財産が無い、生活困窮、町税を課すべき人が不明等の理由のものが55%です。残り45%は滞納から5年を経過し、時効により欠損したものです。合計251名で808期別分です。

## 小林俊夫議員

**問** 国民健康保険財政調整基金について、増額した理由は。

**答** **住民課長** 国民健康保険財政調整基金の積立額ですが、平成30年度は制度改革による財政安定化により、保険給付費が増加して

も栃木県保険給付費等交付金の普通交付金が交付されるようになり、剰余金を多く積み立てられたものです。

## 中村由美子議員

**問** 芳賀チャンネル制作委託料について、前年度に比べ215万6千円増になっている理由は。

**答** **企画課長** 平成29年度は、宇都宮ケーブルテレビから週4日撮影及び番組編集で来ていただいたのですが、平成30年度は週5日来ていただいたので、その分が上昇したものです。週5日にした理由は、撮影及び編集について町職員の土日の出勤等の負担が増えてきた状況があるためです。

## 北條勲議員

**問** 基本技能検定試験の平均点は。

**答** **子ども育成課長** 平均点の公表はしていません。受けた生徒には伝えていますが、指導改善のための指標という事で行っている基本技能検定なので、平均点の公表は控えたと思います。指導改善につながっているかも含めて公表できるものについては検討します。

## 江間田信一議員

**問** 災害復旧費において不用額が発生している理由は。

**答** **総務企画部長** 災害により、道路、橋りょうが傷んだり、農地のり面が崩れたり等、その復旧を早急に行わなければならないという場合に予算が無いと執行ができません。そのため、予算計上をしています。昨年はそのような災害復旧事業がなかったため、不用額となっています。

## 岡田年弘議員

**問** 県営農業農村整備事業調査計画負担金中、市の堀用水44万円の内容について問う。

**答** **農政課長** 鬼怒東部土地改良区が実施する塩谷町市内の市の堀用水の改修工事に伴う流域の負担金になります。平成30年度から32年度まで調査設計を行いますので、その芳賀町分の負担金です。

## 石川保議員

**問** 不法投棄対策防止費中、犬猫等れき死回収処理に係る報償費29万5千円の内容について問う。

**答** **環境対策課長** 廃棄物監視員12名に対して、道路上の動物のれき死体を回収した場合、謝礼として商工会の商品券を配布しています。1匹回収するたびに1000

0円、回収物を芳賀地区エコステーションに持っていくとさらに1000円になります。

## 大根田弘議員

**問** 町有施設管理中、下高根沢下原町有墓地ブロック塀修繕工事128万円の詳細を問う。

**答** **環境対策課長** 平成23年度の震災により、下原町有墓地のブロック塀が傾いており、ブロック塀の下敷きになった事故をうけ、調査した結果、修繕したものです。ブロック積みを半分にし、軽量化と目隠しのためアルミラフェンスに変更しました。

## 山口菊一郎議員

**問** 結婚支援費の業務委託料13万9千円の事業内容について問う。

**答** **生涯学習課長** 出会い創出事業を2回実施しました。1回目は11月3日に県内のラジオ局に委託し、2回目は2月10日に県内テレビ局に委託して行いました。どちらのイベントについても男性は町内在住者を優先して20名募集をし、女性については、地区にこだわりなく20名募集という形で行い、2回とも5組のカップルが成立しました。

# 常任委員会決算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は9月9日から11日まで、平成30年度一般会計及び特別会計決算の書類審査と現地調査を行いました。各委員会は、9月13日の本会議において意見を付して決算を認定しました。

## 総務常任委員会

□書類審査（9月10日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

□現地調査（9月11日）

役場庁舎、祖陽が丘住宅団地、消防センター  
第1分団第3部



▲書類審査(税務課)



▲現地調査(役場庁舎)

## 教育民生常任委員会

□書類審査（9月9日、10日）

住民課、環境対策課、健康増進課、福祉対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（9月11日）

町民会館、ドンカメ堆肥センター、エコフオレスト（一般廃棄物最終処分場）



▲書類審査(生涯学習課)



▲現地調査(町民会館)

## 産業建設常任委員会

□書類審査（9月10日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（9月11日）

芳賀高西線、祖陽が丘住宅団地、飯島上横線、三日市宮田線、芳賀変電所



▲書類審査(都市計画課)



▲現地調査(祖陽が丘住宅団地)



▲現地調査(祖陽が丘住宅団地)



▲現地調査(消防センター)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①当町は、地方交付税の不交付団体である。町財政の健全化は重要であると認識するが、町として何もやらなければ債務残高は減少する。そこで、健全化を意識しつつ、老朽化している町有施設について「公共施設等総合管理計画」に基づき、積極的な予算編成をされたい。

②同一労働・同一賃金を含む働き方改革関連法が2018年6月29日に成立した。同一労働・同一賃金とは、同一企業・団体における正規雇用労働者と非正規雇用労働者との不合理な待遇差解消を目的とするものである。当町においては、全職員223人の約31パーセントが嘱託職員等で占められている。こ

うした現況に鑑み、働き方改革関連法の趣旨を尊重し、待遇差の解消について早急に取り組まれない。

委員長	大根田周平
副委員長	江間田信一
委員	小林 信二
委員	小林 俊夫



▲現地調査(ドンカメ)



▲現地調査(エコフォレスト)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①予算の適正な執行に努めた結果、執行率、不用額とも適正であると認められる。

②保健センターが老朽化しているが、利用者の利便性を考え改修に努められたい。

③学童保育が当初の状況から利用形態や重要性が変化している。負担も含め、現況にあった形態への変革を保護者とともに検討されたい。

委員長	小林 一男
副委員長	岡田 年弘
委員	大根田 弘
委員	有坂 隆志
委員	中村由美子



▲現地調査(飯島上横線)



▲現地調査(芳賀変電所)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①生活排水処理は河川などの水質保全を目的として、すでに昭和63年から共用開始している農業集落排水事業は、平成15年に完了している。一方、公共下水道事業については、いまだに整備の未着手の地域があり、公共サービスの格差がでているものと思われる。今後は一層スピード感を持って整備を進めるよう努力されたい。

②芳賀温泉ロマンの湯の入館者数は、平成30年度においてピーク時より約8万人減少している。平成26年度の入館料の値上げも一つの要因であると考えられる。ロマンの湯の新しい価値を高め、入館者増を図る必要がある。今後は入館料も含め、施設・運営等の見直しを検討されたい。

委員長	北條 勲
副委員長	山口菊一郎
委員	小林 隆志
委員	岩村 治雄
委員	石川 保